

CDP質問書を通じた サプライチェーン管理

CDP Worldwide Japan 原田

2023年8月29日



世界経済は大きく変わっています

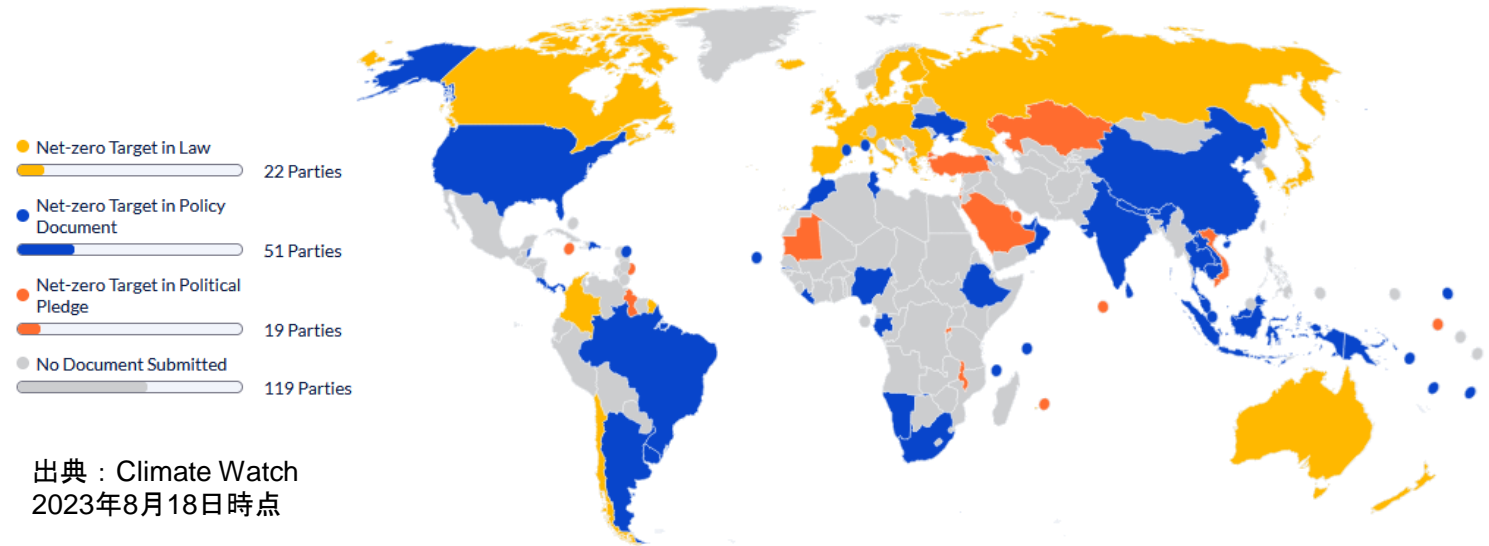
温暖化が進めば進むほど
極端現象の発生リスクは高まる

fig.5

1850-1900年を1とした場合の発生頻度



▼ 2023年7月の世界平均温度は、観測史上最も暑い一か月であったことが確認された。これほど暑かった月は過去12万年で存在しなかった (出典: [United Nations](#))



世界のGHG排出量の79.3%を占める97か国がネットゼロ目標を表明

世界経済がネットゼロ・ネイチャーポジティブに移行し、社会が急速に変わっていく中で、**事業リスクは自社の直接操業だけでなく、サプライチェーン上にも存在しています**

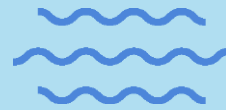
サプライチェーン上の様々なリスクの例

貴社がどんなに自社の「直接操業」における環境リスクの低減をしていても ...



サプライヤーのGHG排出量が減らなければ、貴社のScope 3含めた排出削減目標は達成されない。貴社の製品はカーボンフットプリントが高い状態が解消されなければ顧客が離れてしまう

サプライヤーが操業する地域で厳しいカーボンプライシングが導入されれば、貴社の調達コストが増加する



生産工程で質の高い多くの淡水を必要とする商品（衣類、食品、化学、電子機器等）を作るサプライヤーが、活動する地域で水不足が発生すると、サプライヤーの生産ラインが停止し、貴社に商品を納品できず、結果的に貴社の事業を止めてしまう



貴社がサプライヤーから調達しているコモディティ（木材、大豆、畜牛品、パーム油等）が森林減少を伴っていれば、貴社も間接的に森林減少（生態系の破壊＋気候変動の加速）に加担していることになり、ブランドイメージが低下し、顧客が離れてしまう

また、そのようなサプライヤーは行政によって操業の停止を命じられ、貴社への納品を止めてしまう

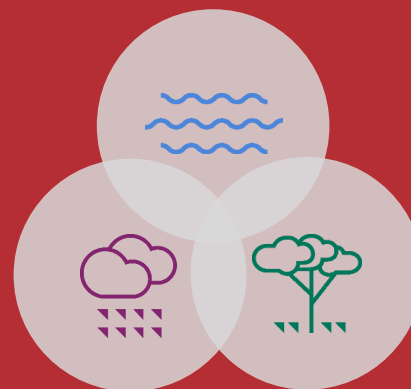
サプライチェーン上の様々なリスクの例

貴社がどんなに自社の「直接操業」における環境リスクの低減をしていても ...

サプライヤーからなければ、貴社の排出削減目標は達成できません。貴社の製品はコストが高い状態であれば顧客が離れてしまいます。サプライヤーが厳しいカーボン規制が課せられれば、貴社のコストは増加する

貴社はサプライチェーン上の各種環境リスクを把握できていますでしょうか？

環境テーマ



リスクタイプ

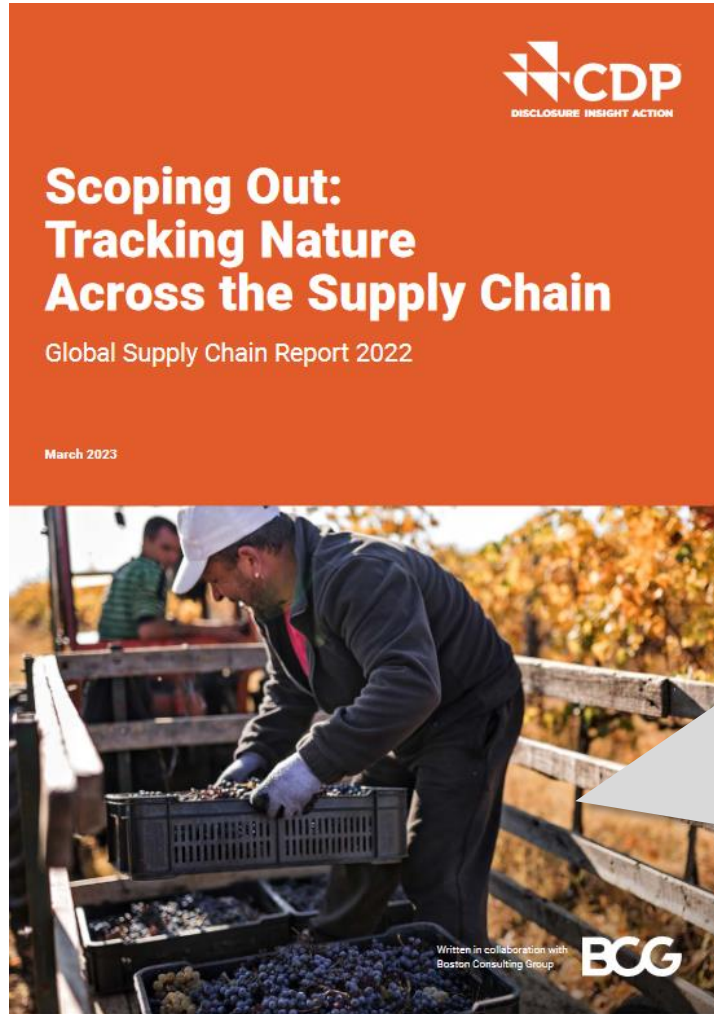
物理リスク

移行リスク

貴社から調達して木材、大豆、小麦（等）が森林破壊により貴社も間接的に森林破壊の破壊+気候変動の影響を受けていることにより、貴社のイメージが低下する

貴社のサプライヤーは森林破壊の規制に違反し、生産を停止を命じられ、貴社への納品を止めてしまう

アパレルセクターの水セキュリティに関する例



アパレルセクターや、年間93兆リットルもの水を消費し、布地の染色を通じ水質汚染を引き起こしており、世界の廃水と産業汚染の20%はアパレルセクターに由来していると言われていたが ...

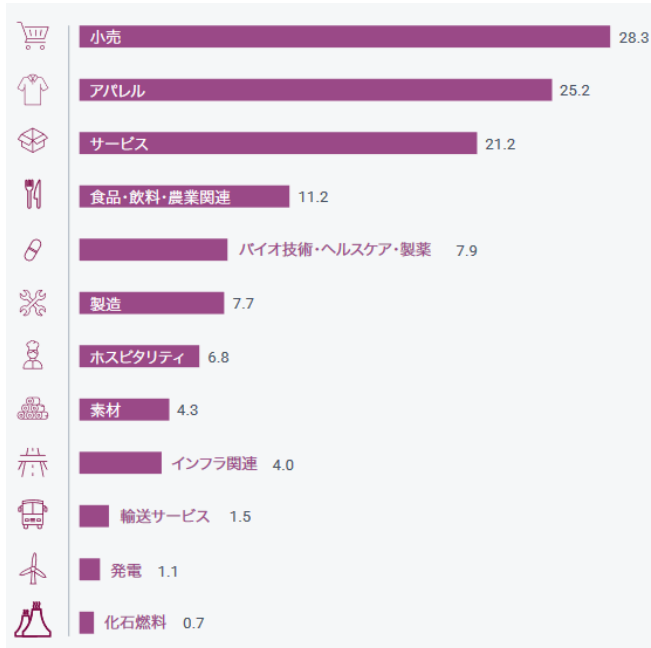
- ▼ バリューチェーン上における汚染事故を、財務または戦略におけるリスク要因として特定している企業は0社
- ▼ 60%以上の企業が水関連のリスクアセスメントの対象としてサプライヤーを考慮していない
- ▼ 水セキュリティに関して、サプライヤーエンゲージメントと水質汚染の両方の目標を掲げている企業は0社
- ▼ サプライチェーンにおける廃水の質を改善することに対して、役員にインセンティブを提供している企業は1社のみ

⇒ **ほとんどのアパレル企業の取り組みは不十分**

バリューチェーン上のリスクの特定



セクターごとのスコープ3の割合



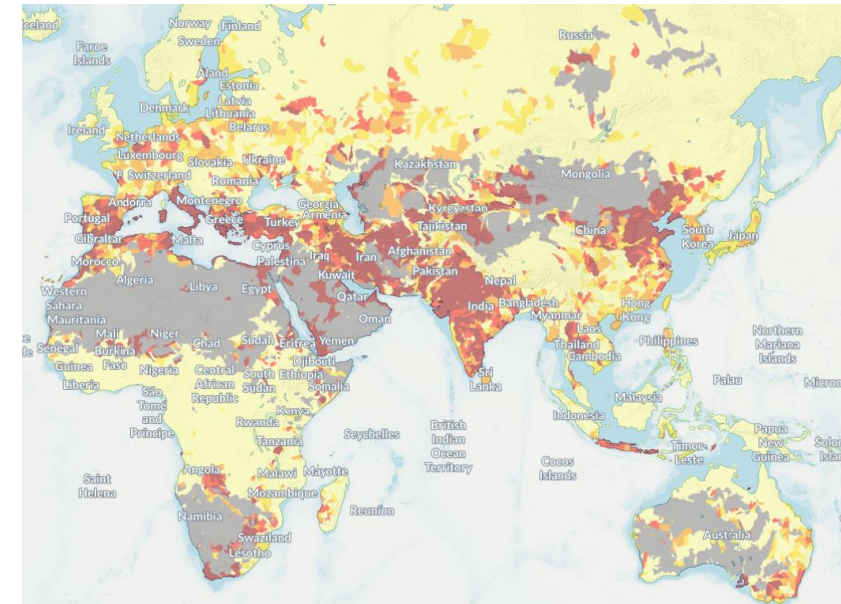
Source: CDP Global Supply Chain Report 2020

セクターごと水影響の大きさ

CDP Industry	CDP Activity Group	CDP Activity	OVERALL WATER IMPACT RANK	WATER IMPACT 2023
Apparel	Textiles & fabric goods	Apparel design & manufacturing	18	Critical
Apparel	Textiles & fabric goods	Luggage & bags	12	Very High
Apparel	Textiles & fabric goods	Textiles	16	Critical
Biotech, health care & pharma	Biotech & pharma	Biotechnology	7	Medium
Biotech, health care & pharma	Biotech & pharma	Pharmaceuticals	15	Critical
Biotech, health care & pharma	Health care provision	Health care facilities	7	Medium
Biotech, health care & pharma	Medical equipment & supplies	Health care supplies	10	High
Biotech, health care & pharma	Medical equipment & supplies	Medical equipment	13	Very High
Food, beverage & agriculture	Crop farming	Biofuel supply	12	Very High
Food, beverage & agriculture	Crop farming	Cocoa bean farming	16	Critical

Source: CDP Water Watch



地域ごとの水ストレスの大きさ





Source: WRI Water Aqueduct

- ▼ サプライチェーン上のリスクは偏在している
- ▼ 全てのサプライヤーに深いエンゲージメントをすることは現実的ではなく、自社事業の文脈における高リスクサプライヤー（リスクのホットスポット）を特定して、**優先順位をつけて働きかけることが重要**



高リスクサプライヤーを特定するデータポイント例

カテゴリー	データポイント	見るポイント
環境パフォーマンス 	GHG排出量、取水・排水量、リン・窒素といった物質の水への排出量、水関連の規制違反の有無、森林減少リスクの高いコモディティの取扱量と認証取得率、報告除外の有無	サプライヤーは実態を把握し、情報開示できている？ 特に量の多いサプライヤーはどこ？水関連の規制違反があったサプライヤーはいる？
地域性 	Scope 2の国別内訳、水ストレスが高い地域からの取水の割合、森林減少リスクの高いコモディティの国別内訳とトレーサビリティ	どのサプライヤーがエネルギー関連の規制の影響が大きい？ 水ストレスが高い地域からの取水が多いサプライヤーはいる？森林減少リスクが高い国からの調達が多いサプライヤーは？そういった企業は、コモディティの生産場所を把握できている？

高リスクサプライヤーを特定するデータポイント例

カテゴリー	データポイント	見るポイント
目標・コミットメント 	気候変動（排出量等）、水セキュリティ（取水量、排水処理等）、森林（認証割合、トレーサビリティのレベル等）の目標、ネットゼロや森林減少ゼロに関するコミットメント、森林減少ゼロのコミットメントの順守を確認するための仕組み	影響が大きいサプライヤーは、環境負荷を低減していく野心的な目標を持っている？ 設定した目標に対してちゃんと進捗できている？
リスク評価 	リスク評価プロセスの詳細、特定された重大リスクの詳細	サプライヤーは、自社が今後さらされる可能性がある環境リスクについて分析している？ 分析にあたって、考慮した時間軸（長期的な将来を見据えているか）、対象範囲（事業・バリューチェーン・環境課題の種類）は適切？ 評価の頻度は十分？ 特定された重大リスクの発生可能性や、財務影響額はどの程度？ 重大リスクに対して、適切な対応策を講じている？

高リスクサプライヤーを特定するデータポイント例

カテゴリー	データポイント	見るポイント
ガバナンス 	取締役会レベルでの監督取締役会にて、環境課題が取り上げられる頻度、取締役の環境課題への理解	各種目標の達成や、重大リスクに対応するための戦略の策定・投資判断を速やかに実施するためには、取締役会レベルで環境課題を監督する体制が不可欠。貴社サプライヤーは、取締役会レベルでの環境課題に関する責任を明確化できている？サプライヤーの取締役会には、環境課題をよく理解している個人がいて、十分な頻度で環境課題が議題として取り上げられている？
サプライチェーン エンゲージメント 	エンゲージメント内容、エンゲージメントの成功を判断する指標、エンゲージメント対象の根拠	貴社にサプライチェーン上のリスクがあるように、貴社サプライヤーも自社のサプライチェーン上のリスクを抱えている。これは間接的に貴社にとってのリスクでもあるため、サプライヤーが自社サプライヤーに働きかけをしていることが望まれる。貴社サプライヤーは自社のサプライヤーに働きかけている？

HP Inc.の事例



With our highest priority suppliers, environmental management is embedded in our Sustainability Scorecard, which is integrated into ongoing business performance evaluations. We use data from our suppliers' CDP responses to evaluate quantitative impacts, like greenhouse gas emissions, energy and renewable energy use, and water consumption. We also use CDP to review their qualitative environmental management, such as transparency of responses, ambitious science-based climate targets, verification of footprints, and water stewardship.

James Riddle,
Supply Chain Environmental Strategy Lead,
HP Inc.

最優先サプライヤーに対しては、環境管理を弊社のサステナビリティ・スコアカードに組み込み、継続的な業績評価に反映しています。温室効果ガス排出量、エネルギーおよび再生可能エネルギーの使用量、水の消費量などの定量的な影響を評価するために、サプライヤーのCDP回答データを使用しています。また、回答の透明性、科学に基づく意欲的な気候変動目標、フットプリントの検証、ウォーター・スチュワードシップなど、サプライヤーの定性的な環境管理についてもCDPを活用しています。

James Riddle,
Supply Chain Environmental Strategy Lead,
HP Inc.

CDP日本事務局 翻訳

CDP質問書の有用性 (貴社の視点)



貴社のサプライヤーがCDP質問書に回答することで ...

- ▼ 前述の高リスクサプライヤーを特定するデータポイントについて、サプライヤーごとに情報を収集することができ、リスク管理に活用できる
- ▼ 質問書内のサプライチェーンモジュール*を通じて、貴社固有のサプライヤー情報を収集することができる
 - ▼ サプライヤーのGHG排出量の内、貴社に割り当てられる排出量（一次データの活用）
 - ▼ スコープ3算定にあたり、ISSBは一次データを優先することを求めています。
 - ▼ 水リスクが高いと評価されている施設の内、貴社向けに製品を製造している施設の有無
 - ▼ 貴社向けに提供されている森林減少リスクの高いコモディティの内、認証を受けている量/割合
 - ▼ 環境負荷を下げるために、サプライヤーが貴社と協働したいプロジェクトの提案
- ▼ 貴社独自の環境に関するサプライヤーアンケートを管理する手間がなくなる
 - ▼ CDPが最新のベストプラクティスを調査した上で、質問内容及び評価基準を設定
 - ▼ CDPにて各種支援を複数言語で提供：①質問書の詳細なガイダンス、②問い合わせ窓口の設置、③ウェビナーの開催
 - ▼ CDPより回答提出が完了していない企業へのリマインド
 - ▼ 提出された回答データの整理や採点作業をCDP側で実施

CDP質問書の有用性 (貴社サプライヤーの視点)



貴社のサプライヤーがCDP質問書に回答することで ...

- ▼ **環境課題のマネジメントについて理解を深めることができる ⇒ 次に何をすべきかの道しるべ**
 - ▼ CDPの質問書・評価基準は、各環境テーマにおける国際的にベストプラクティスとされる枠組み（TCFD、ISSB、TNFD等）を組み込んでおり、また常に最新のベストプラクティスを反映するために、毎年アップデートされている
 - ▼ ベストプラクティスを反映した評価基準に基づいたスコア結果が提供されるため、改善の余地が大きい分野を把握することができる
 - ▼ 同じ定義の下で情報開示をしている企業が、世界中に多数存在し、多くの回答が公開されているため、互いに学び合える環境がある。2022年には世界の18,700社以上が回答しており、その数は年々増加している
- ▼ **環境関連のアンケートがCDP質問書に集約されることで、報告負荷が下がる ⇒ 「報告」に割かれる時間が減れば、より多くの時間を「行動」のために割くことができる**
 - ▼ サプライヤーが、各顧客ごとに質問内容・言葉の定義・提出方法等が異なるアンケートへの対応を個別にしていると、報告の負荷が増してしまう
 - ▼ CDPに回答することで、SBTi、RE100、UN Race To Zeroキャンペーン等の国際的イニシアチブへの報告も完了する
 - ▼ 長年の開示プラットフォームとしての蓄積した開示データにもとづき、多くの質問では選択肢が整備されており、選択肢を通じて回答できる箇所も多い

本日のまとめ

世界経済の大きな変化

- ▼ 気候現象の激甚化
- ▼ 降水パターンの変動
- ▼ 生態系サービスの劣化
- ▼ 規制の新規導入・厳格化
- ▼ 投資家・顧客のニーズの変化（より環境配慮型製品を求めるように）

サプライヤーがCDPに回答

- ▼ サプライチェーン上のリスクを特定するための情報を収集
- ▼ サプライヤーの環境課題に関する理解の向上
- ▼ 報告にかかる手間が軽減されることで、より多くの時間をアクションに割ける

戦略的なサプライチェーン エンゲージメント

- ▼ 高リスクサプライヤーを中心に、適切なエンゲージメントを実施
- ▼ サプライチェーン上のリスクの軽減
- ▼ **ネットゼロ・ネイチャー
ポジティブな経済の中で、
繁栄できる企業に**



CDPジャパン事務局

Address: 東京都千代田区丸の内2-5-1 丸の内二丁目ビル7階



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



Contact email address:
japan@cdp.net